

# 川口市安行霊園基本計画【概要版】



## 1. 経緯と目的

- 葬送に対する考え方や墓地のあり方が多様化している中、本市霊園においても、承継者がいないなどの状況に伴い合葬式墓地等の新しい墓地形態の需要が年々増加しています。
- このような背景から、昨年度策定した「川口市安行霊園基本方針」を踏まえ、既存施設の建替えや合葬式墓地の新規設置など、社会状況等の変化に伴う墓地需要に対応するとともに、市民に親しまれる場となるよう霊園整備を進めるため、霊園施設の整備方法等に関する具体的な基本計画を策定しました。

## 2. 本計画のコンセプト

### 【施設全体のコンセプト】

既存の限られた敷地内において、必要な設備を備えつつ、機能を複合化してコンパクトな霊園とします。また、緑地を確保して景観に配慮した霊園計画の実現を目指します。

### 【納骨堂・合葬式墓地のコンセプト】

- ・ 「緑に包まれた納骨堂・合葬式墓地」を目指し、景観に配慮した建物とします。
- ・ 納骨堂及び合葬式墓地の一体化を図ります。
- ・ 環境に配慮し、可能な限り「自然採光・自然換気」を取り入れた建物とします。

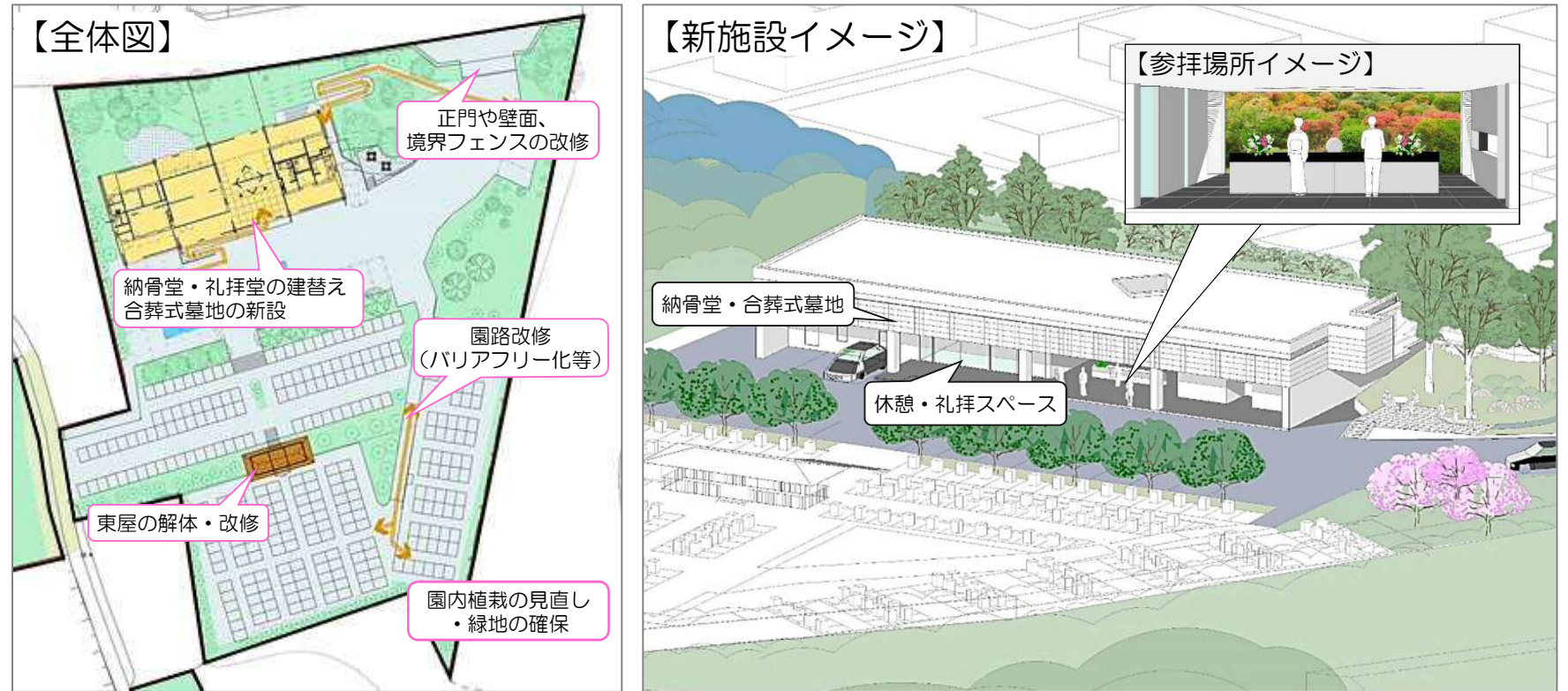
## 3. スケジュール（予定）

令和5年度以降のスケジュールは以下を予定しています。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
基本設計・実施設計				
	仮設設置・遺骨移動			
		解体工事		
			整備工事	
				供用開始

## 4. 本計画の概要

本計画の概要は以下のとおりです。



### 施設構造：建物一体型

- 新しい施設は次の設備を集約した一体型の建物とします。
- 【1階】参拝場所、休憩・礼拝スペース、管理事務所、トイレ
  - 【2階】納骨堂、合葬式墓地（一時安置室）
  - 【地下】合葬式墓地（合同埋蔵室）

### 合葬式墓地：一時安置および合同埋蔵

- 合葬式墓地は次の運用とします。
- 【一時安置】遺骨を一定期間個別に安置します。
  - 【合同埋蔵】一時安置後、他の遺骨と一緒に合同埋蔵します。  
(一時安置せずに直接合同埋蔵も可)

### 参拝方式：間接参拝（納骨堂・合葬式墓地）

- ・ 現在のような納骨壇の前で個々に参拝する「直接参拝方式」から、屋外の共同参拝場所で参拝する「間接参拝方式」とします。
- ・ 参拝場所には献花焼香台等を設置します。

### 遺骨の安置期間：納骨堂3年、合葬式墓地20年（個別）

- 納骨堂および合葬式墓地の安置期間は次のとおりとします。
- 【納骨堂】3年（更新1回まで）
  - 【合葬式墓地】20年（個別に安置する期間）

### 遺骨の状態：粉骨または焼骨のまま

- ・ 合葬式墓地の申し込みの際、遺骨は「粉骨した状態」または「焼骨のまま」を選択できるものとします。
- ・ 粉骨の場合は、使用料を低額にする等の対応を検討します。

### 使用料・管理料の見直し

- ・ 区画墓地、納骨堂、合葬式墓地の使用料や管理料については、工事等の導入費、維持管理費、他自治体の事例等を総合的に勘案して検討を行います。